

おかげさまで開館25周年

市立博物館・ ★ プラネタリウム



チャンネル
運動

- 地デジ12ch (CTY)
- 10月11日(木)～20日(土)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

- 所在地 〒510-0075 安島一丁目3-16 そらんぼ四日市
[2階]四日市公害と環境未来館 [3階]博物館常設展
[4階]特別展示室 [5階]プラネタリウム
 - 開館時間 9:30～17:00
 - 休館日 月曜日(祝日の場合はその翌平日) ※10月8日(月)は開館
 - 電話・FAX(博物館) ☎ 355-2700(代表) FAX 355-2704
 - ホームページ <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/>
- ※博物館専用の駐車場はありません。JAパーキングをご利用の人には2時間までの無料駐車券をお渡しします。
お帰りの際には、総合受付にJAパーキングの駐車券(入庫証)をお示しください

昭和63年

四日市市立博物館基本構想策定委員会が発足

平成3年1月

四日市市立博物館 起工式

平成5年3月

博物館・プラネタリウム建設工事竣工

平成5年10月

皇太子同妃両殿下ご来館

平成5年11月

四日市市立博物館・プラネタリウム開館

常設展は地質時代から現代まで六つのテーマに分けられ、四日市市を含む北勢地域の歴史について紹介。地学資料・考古資料や史料だけでなく、ジオラマを多用した展示が特徴で、プラネタリウムを併設していることも特徴的でした。



平成5年11月

開館記念特別展「鯨・勇魚・くじら クジラをめぐる民俗文化史」

平成8年7月

移動天文車「きらら号」導入

平成14年7月

観覧者数100万人突破

平成15年6月

開館10周年記念「はにわ 形と心」開催

平成18年12月

丹羽文雄記念室オープン。常設展を全面無料化。特別展・企画展を中学生以下無料化

平成21年7月

世界天文年関連事業「日食観望会」実施

平成22年12月

小惑星探査機「はやぶさ帰還カプセル展示」開催

平成24年8月

観覧者数200万人突破

平成25年4月

開館20周年記念「しんきろう～四日市鳥瞰図～」開催

平成26年5月

リニューアル工事のため休館

平成27年3月

リニューアルオープン

新たに四日市公害と環境未来館が開設され、博物館・プラネタリウムも装いが大きく変わりました。

平成30年8月

リニューアル後の常設展、観覧者20万人達成

平成30年11月

開館25周年



何度来ても
新しい

博物館の楽しみ方

「博物館はいつ行っても同じでしょう」「一度行けばもう十分」…そう思っていませんか。市立博物館では、ボランティアによる解説や各種催しなどを随時行っています。何回来ても新たな発見がある、博物館の楽しみ方を紹介します。

水先案内人は緑の法被が目印。タイムスリップ気分写真撮影もOK

常設展
「時空街道」



博物館ボランティア
森美喜男さん(左)
佐橋英彦さん(右)

原始・古代から江戸時代までの四日市のあゆみを、原寸大の展示で再現しています。



楽しく学んでもらえるよう、私たちボランティアが時空街道を案内します。この常設展には説明書がないので、お客さん自身に考えてもらうお手伝いをします。原寸大で建物や人形などが再現されていて、展示物を触っても記念写真を撮ってもOKという博物館はなかなか他にありません。市外からのお客さんも多く、「四日市にはこんな博物館があつていいな」と言ってくれます。敷居の低いフレンドリーな博物館なので気軽に来てほしいですね。

実は…
1

季節によって
マイナーチェンジ

時空街道の展示は、竖穴住居の食事内容が季節に応じて変わったり、まんじゅう屋がはまぐり屋に変わったりします。



文学の世界にどっぷり浸る

常設展「丹羽文雄記念室」

四日市市出身で文化勲章を受章した作家、丹羽文雄を紹介しています。展示室には当時の応接間が再現されており、記念室語り部の解説を聞くこともできます。



見落としがちだけど、ココにも注目

学習支援展示・特別陳列

時空街道の奥にたたずむ「展覧処 白里亭」では、館藏品や学習に役立つ貴重な資料などを定期的に入れ替えて展示しています。



一期一会の出会い。チャンスは今しかない

企画展
特別展

市立博物館が所蔵する逸品を中心にテーマに沿って展示するオリジナル企画(企画展)や、全国を巡る展覧会(特別展)などを開催しています。

■前回の企画展

「ばんこやき再発見! —受け継がれた萬古不易の心—」



萬古焼の歴史と優れた芸術性を紹介した企画展。実際に萬古焼に触れて作品調査を体験する講座も行われました。

次に萬古焼を見るときは、いろいろとところに注目して見てみたいと思いました。

参加者の声



各種講座
など

個性豊かな企画が毎月ぞくぞく登場。子どもも大人も楽しく学べる

親子でアート作品を作るワークショップや、展示と関連した工作などを行う講座、まちなかに飛び出すフィールドワーク、古文書を学ぶ講座など、年間を通じてさまざまな講座を開催しています。



博物館の裏側

表舞台の裏側を知ってから歩いてみると、より深く楽しめるかもしれません。

実は…
2

収蔵する前に必ず入れる秘密の部屋

大切な資料を守るため、収蔵する前に燻蒸庫に入れて薬剤を浸透させます。薬剤には、害虫駆除や防カビ・殺菌の効果があります。



実は…
3

収蔵庫には四日市の宝が



眠り猫

色絵窓龍文盛蓋瓶

福助土瓶



東海道五十三次之内
四日市三重川



(狂歌入東海道)
東海道五十三次
桑名・富田立場之図

学芸員の仕事は、資料の収集・保存・研究・展示が柱となっています。収集しているのは四日市に縁があるもので、市民の皆さんからの寄贈も多いです。集まった資料について、いつどこで使われていたものなのかといったことを調べます。そうやって大切に保存してきた資料を皆さんに見てもらおう場が企画展で、企画から展示の仕方、チラシのデザインまで、職員が考えて形にいきます。

実際に資料が残っていることで、情報が後世に引き継がれていきます。「四日市ってどんなまちなのだろう」と思ったとき、博物館の存在を思い出してもらえると嬉しいです。

市立博物館 学芸員 千田佑香



裏側で仕事を体験

博物館の役割を深く学ぶきっかけになればという思いから、中学・高校生の職業体験や、学芸員の資格取得を目指す大学生の博物館実習を受け入れています。



▲企画展のレイアウトを考える実習生

星の数
世界一

プラネタリウム

世界一多くの星を投射できる投射機に、高精細な映像を映せる8Kプロジェクター、臨場感を演出する音響設備。いつでも快適な空間で、満天の星空に出会えます。
また、日本に数台しかない“動く天文台”「きらら号」で本物の空を観察する観望会や各種講座など、気軽に天文に触れられる機会をご用意しています。



天文ボランティア 鈴木孝典さん

私たち天文ボランティアは、博物館が主催する観望会やコズミックスクールなどの天文事業をサポートしています。また、自主的な活動として、タイムリーな天文現象を分かりやすく解説するガリレオ教室や、折り紙など簡単な工作で小さな子どもでも楽しめるボランティア工房を毎月開催しています。

観望会では、「すごい。本当に見えるんだ」と感動する様子を見たらうれしくなります。難しいことを考えずにまず見てもらい、天文を通じて自然科学に関心を持ってもらえると良いですね。

天文の分野は大人でも難しいので、ガリレオ教室ではいすに座ってじっくり聞くのではなく、クイズや実験といった体験をできる限り取り入れるなど、動きを入れるように工夫しています。「ここに来たら面白いものに出会える」と思ってもらえるようにしていきたいですね。

ガリレオ教室

時 毎月第2日曜日 ①11:00
②14:00(各回20分)
所 5階 コズミックラウンジ



先日実際に流星群を見たので、流れ星というテーマに興味を持ちました。実験にも参加して面白かったです。



観望会

時 毎月第4土曜日ほか
所 市民公園(博物館前)ほか
★子ども会や地区の行事などで「きらら号」を使った星空観察会を行うことも可能です



きらら号では木星のしま模様が見えました。他の望遠鏡でも火星、木星、土星、月を見ることができました。



プラネタリウムの裏側

実は...
1

季節の星空番組は、職員の手作り

星空番組は職員がシナリオを考え、番組を制作していきます。秋は一般番組「南極ふしぎ探検」もオリジナルで、職員が45分間生解説をします。

実は...
2

毎日ちよつとずつ内容が違います

どの番組にも職員がその日の星空を生解説するコーナーが付いています。星空番組「12の星ものがたり」では観覧者の誕生日の星空も映します。

市立博物館
伊藤達郎



10月
開催

イベント情報 + α

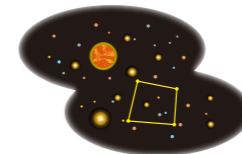
広報よっかいち下旬号「そらぼ通信」や市立博物館ホームページでイベント情報をチェックして、ぜひ遊びに来てください。

オリオン座流星群と栗名月観望会

時 10月21日(日) 19:00~21:00
所 伊坂ダムサイクルパーク管理事務所前
内 秋を代表する流星群のオリオン座流星群と、栗名月(十三夜の月)を観望します
料 無料
他 天候不良時は中止。きらら号は出動しません

きらら号スターウォッチング 「火星と秋の四辺形をさがそう」

時 10月27日(土)18:00~19:30
所 市民公園(博物館前)
内 見頃の惑星「火星」と秋の四辺形(ペガサスの四辺形)を観望します
料 無料
他 天候不良時は中止



プラネタリウム秋番組

① 一般番組 ② ファミリー番組 ③ 星空番組



時間	10:15 ~11:00	11:30 ~12:15	13:15 ~14:00	14:30 ~15:15	15:45 ~16:30
平日	学校団体利用			①	③
土日祝	①	②	②	①	③

土曜日(一部除く)は夜間特別投映(18:30~19:15)も行います。秋番組は「君と見る流れ星 starring 秦基博」です。

2018イタリア・ポローニャ国際絵本原画展

時 10月28日(日)まで
所 4階 特別展示室
内 入選作品全385点が大集合。出来立ての原画をお楽しみください。
料 一般700円、高校・大学生500円、中学生以下無料



開館25周年記念講演会 「歴史に学び、未来を読む」

時 10月21日(日) 13:30~15:00
所 じばさん三重6階 ホール
内 史実から見てくる歴史上の人物像や歴史を、日常生活や仕事へどう活用していくかなど、楽しく分かりやすい講演です



師 歴史家・作家 加来耕三さん
定 200人 料 無料(要整理券)
他 無料。整理券150枚(10月2日~20日に、博物館1階総合受付で配布。1人につき2枚まで)。当日席(50席)あり

ミュージアムショップも 覗いてみよう ~オリジナル商品~



和三盆(650円)

風呂敷(540円から)

ファイルバッグ
(各250円)

丸形・切り抜き
ポストカード(各154円)

浮世絵すごろく
(823円)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

市立博物館(代表) ☎355-2700 FAX355-2704
広報マーケティング課 ☎352-8244 FAX354-8315